

福祉の風

山口県福祉用具協会

2011/12 発行

会長ご挨拶

みなさん ご存知ですか？

毎年10月1日は「福祉用具の日」なのです。多くの人に、福祉用具を知ってもらい身近に感じてもらおうと、福祉用具関連団体を中心となって2002年に制定されました。当協会も、皆様の多大なご協力ご支援を頂き、先日「第8期総会」を無事終える事ができました。

総会後は、周防大島 おげんきクリニック院長 岡原先生より、笑いあり、涙ありのご講演をいただきました。



総会・研修会後に岡原 Dr にハグしてもらいました。

各支部においては、地域活動を強化し、研修を企画するなど、福祉用具専門相談員の一層のレベルアップに向けて、様々な論議をし、会員それぞれの協力と理解を重ね、福祉用具事業者が、介護サービス事業者として果たすべき役割、サービス提供を可視化し、関係団体との連携を図るなどスキルアップできるよう日々努力されています。

2012年4月の介護保険制度改正では、福祉用具サービスに「個別援助計画」を導入する方針が打ち出されています。これにより、ご利用者の心身状況や住環境によりフィットした福祉用具を選定し適切に活用していただくことで、質の高いサービスの充実につながり、福祉用具サービスの重要性を益々認識していただけるものと期待しています。

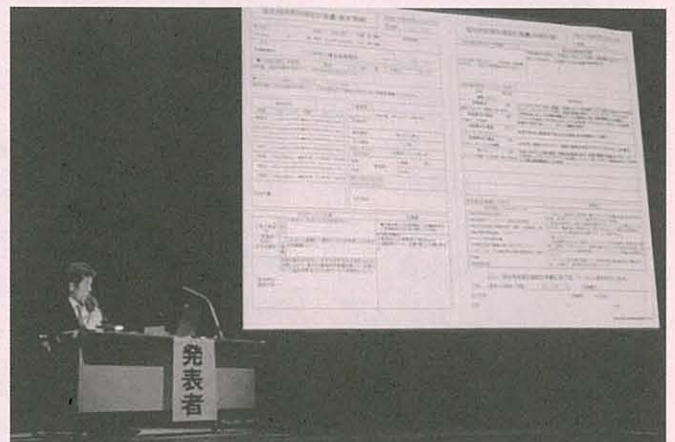
また、会報誌「福祉の風」・協会ホームページには、研修会情報や福祉用具の適切な選び方や活用法など、すぐ役立つ情報を一段と充実した内容で提供させていただいています。

更に、来年1月には、下関ドリームシップに於いて「山口県ケアマネジメント研究大会」が開催されます。これにも我々が福祉用具を展示することで、皆様に福祉用具をもっと身近に感じて頂き、会場を盛り上げていきたいと考えます。これからも、他職種との連携を図り、質の向上、地位確立に努め、微力ながら、会員皆様一緒に努力していきたいと願っています。何卒よろしくお願い致します。(文責 横山)



○介護保険研究大会 (2010/12/11)

昨年度の研究大会より「山口県福祉用具協会」として展示を中心に参加させていただくようになりました。保険福祉会館の一階のロビーや研修室に溢れるほどのメーカーが集結して、そしてさすがに介護の専門家の研修とあって熱心な質問や視線が飛び交いました。





HAL という最新鋭のロボットスーツを試しているのは前年度の福祉用具の研修会で講演をいただいた都志見病院の杉山先生。まだ全国に6体しかないものを体験できました。



○山口県福祉用具協会 総会

平成 23 年 10 月 22 日 (土曜日) 午後 1 時からセミナーパーク講堂にて山口県福祉用具協会の総会が開催されました。会員総数 45 事業所のうち、出席は 27 事業所、委任提出は 16 事業所で総会が成立しました。議事としては、第 7 期・事業・会計報告の承認。役員の変更があり、副会長の山口部品株式会社いきいきサポートの、川地信弥氏から元柳井支部長の松永勉氏に、宇部支部長にかいごのスマイル石上文彦氏に変更があり承認されました。

その後、第 8 期・事業計画・予算案の承認。規約改正で 8 支部から 7 支部に変更され承認して頂き総会を終了しました。



		新役員			
会 長	萩・長門支部	有限会社ひまわり	Tel 0838-22-2612	横山ひとみ	
副会長	岩国・柳井支部	海井医科器械株式会社	Tel 0827-28-1122	海井 朗弘	
	防府支部	株式会社山口メディカル	Tel 0835-34-0553	板村 宣芳	
	周防大島町	風泊里	Tel090-9503-0468	松永 勉	
支部長	岩国・柳井支部	海井医科器械株式会社	Tel 0827-28-1122	海井 朗弘	
	周南支部	株式会社ハツタ山口	Tel 0834-25-1026	川畑 康成	
	防府支部	株式会社山口メディカル	Tel 0835-34-0553	板村 宣芳	
	山口支部	日本基準寝具(株)エール山口営業所	Tel 083-976-0324	山根 崇	
	宇部支部	かいごのスマイル	Tel 0836-83-5860	石上 文彦	
	下関支部	株式会社モリワカ	Tel 0832-52-1899	森若 敏雄	
	萩・長門支部	有限会社ひまわり	Tel 0838-22-2612	横山ひとみ	
会 計	岩国・柳井支部	海井医科器械株式会社	Tel 0827-28-1122	海井 朗弘	
監 査	山口支部	(有)メコセンター 岩多屋福祉事業部山口支店	Tel 083-972-2037	竹屋 鶴一	



研修 その1

当日は、総会に引き続き会員の研修を行いました。山口支部長の山根氏から、来年度に事業者の指定基準に位置付けられる予定の福祉用具利用者の基本的な情報や福祉用具の選定理由などを記載した『個別援助計画書』の説明と福祉用具などの保険適用、6種▽移乗の補助として使う「介助ベルト」の貸与▽自動で便や尿をタンクに吸引する「特殊尿器」の貸与▽和式便座の高さを補う底上げ部材の購入▽通路などの傾斜を解消する住宅改修▽要介護者の移動を容易にするためにドア扉を撤去する住宅改修▽スロープ設置などに併せて転落防止用柵も設置する住宅改修などの説明が行われた。追加として板村より、個別援助計画導入に当協会が全面的に援助していく旨の説明を行った。



研修その2

最後に、大島郡在住のおげんきクリニック院長の岡原仁志先生から「最後をハグ（育む）大往生のプロジェクト」の演題で講演をいただきました。先生が島で外科医の父の姿をみて、医師を目指し、最先端の医療現場に疑問を感じ、パッチ・アダムスに出会い感銘を受け、故郷の病院を継ぐ決心を固め、地域医療の可能性を追求し、夢の病院を創るため日夜奮闘していることや、訪問時の失敗談、患者家族との絆の大切さを教えていただきました。また、会場からの質問（終末期にどのようなかかわったらよいか？）に対し、やはり日々利用者様との信頼関係を

築くことが大切であるということをお教えいただきました。福祉用具貸与事業者として、モニタリング等を通して、きめ細かいサービスの提供をしていくことの大切さを改めて実感しました。大変有意義な研修会が開催でき岡原先生には大変感謝です。ありがとうございました。

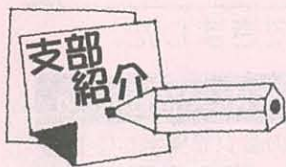
（文責 板村）



講演終了後に役員スタッフと岡原先生を囲んで記念撮影、この笑顔が明日をハグむ（育む）。



※今回より各支部の紹介を始めます。まず第一回目は、宇部支部にお願いしました。



宇部市は県内では下関市、山口市に次ぎ3番目となる17万人の人口を擁します。（人口密度は県内第1位）、本市を中心として山陽小野田市、美祢市を加えた宇部都市圏が形成されています。宇部支部はこの圏域を担当しています。

今年開催された常盤公園の「宇部ビエンナーレ」の彫刻展は50年の歴史を持ち、日本でも最も古い野外彫刻展となっています。宇部市役所には「彫刻課」というセクションまであり、市内各地に受賞した彫刻が展示されてその生活と風景の一部になっています。

	人口	高齢化率	居宅事業所	特養	老健
宇部市	17,300人	26%	44	8	6
山陽小野田市	64,000人	27%	23	4	3
美祢市	28,000人	33%	12	5	1
計	235,000人	29%	79	17	10

宇部支部における介護の現状は左のようになっています。

メンバーは、以下のような7社です。

- 「かいごのスマイル TEL0836-83-5860」
- 「株式会社ズキ自販山口 TEL 0836-32-1122」
- 「株式会社伊藤回生堂 TEL 0836-32-0874」
- 「株式会社ササキコーポレーション TEL 0836-21-8181」
- 「西日本商事株式会社山口営業所 TEL 0836-84-5289」
- 「ニチケアセンター厚南 TEL 0836-45-0038」
- 「山口部品株式会社いきいきサポート TEL 08396-5-0316」



山口県福祉用具協会も第8期を迎え、このたび宇部支部長が、山口部品いきいきサポートから、かいごのスマイルへ交代し、新しい体制で再スタートすることになりました。10月17日に宇部支部のメンバー全員が集まり、新たな体制で協力し合う決意をしたところです。当日は福祉用具協会の横山会長も出席していただきました。

今後さらに地域の方へ福祉用具の必要性を知っていただくとともに、他職種との連携をしながら、利用される方に最適な福祉用具を提案し活用していただけるよう、日々努力していききたいと思います。 (文責 川地)



この夏、私は認知症になった親父を看取りました。…たった一人の人間でも、それを見送ることの心情の重さには、つくづくと考えさせられることがありました。

それが東日本大震災では11月末時点で15840の方が亡くなったと言う。お一人お一人の心情はいかほどだろうか？私一人の想像を遥かに超える心情の重さが、この日本の中で3月11日から蠢いている。そして、まだまだ行方不明（たった4文字で表す非情さ!!）の方が3611人という。

「命の尊さ」と言葉はあるけども、その実体はとてつもなく重い。マザーテレサは「人生の99%が不幸だとしても、最期の1%が幸せだとしたら、その人の人生は幸せなものに替わるでしょう。」として、一切の区別なく看取ったと言う。この言葉を、今もう一度考えてみずにいられない。

その最期の時に、我々福祉用具も関われる。その意味は単にレンタルする..ということだけでは終わらない意味を持つはずで。

おそらく福祉用具事業所の専門家とはこうした意味を信頼関係の元に追求する姿勢を持つ者となるでしょう。

ご活用ください。

県内加盟事業所
福祉用具メーカー



山口県福祉用具協会
ホームページ

山口県福祉用具協会、福祉の風、で検索しても可

<http://山口県福祉用具協会.jp>

山口県福祉用具協会の



ホームページができました。



<http://山口県福祉用具協会.jp>

「山口県福祉用具協会」「福祉の風」で検索しても可
メーカーや県内事業所、等の情報満載!!

協会加盟事業所では上記の名刺を持参しています。

山口県福祉用具協会としてはこうした福祉用具の正しい普及を目指して、協会に加盟する全事業所をサポートしていく所存です。どうぞお気軽にお尋ねなり、相談なりをいただき、「最期の1%」にお手伝いをさせていただければ幸せに思います。

連絡先 HPよりお問い合わせいただくか、事務局 ひまわり TEL0838-22-2612

(編集・文責 松永)